

国絵図研究会第9回例会

臼杵市臼杵図書館所蔵稲葉家文書の国絵図及び郷帳の閲覧

本格的な夏の日差しになって参りましたが、会員の皆様には益々ご清勝のごとお慶び申し上げます。

さて、先日第1報でお知らせ致しました第9回国絵図研究会の例会(幹事:上原秀明・小野寺淳)を、臼杵図書館、臼杵市教育委員会、臼杵史談会のご協力をもちまして、下記の日程で開催しますのでお知らせ申し上げます。8月20日(金)は豊後国絵図や同国郷帳を閲覧し、21日(土)は会員希望の絵図の閲覧と研究会を開催する予定です。閲覧を希望されます絵図がありましたら、下記の要項を確認の上お申し込み下さい。

●日程

8月20日(金)

13:40 JR臼杵駅集合(小倉駅発11:20にちりん9号→臼杵13:31)

※昼食は、集合時間までに各自でおとり下さい。

14:00~17:00 国絵図熟覧(臼杵図書館2階閲覧室)

※閲覧は、図書館員の立会の上、臼杵市教育委員会、臼杵史談会の方々も参加されます。

※図書館は、休館中ですのでご注意ください。

◎閲覧国絵図(番号は、同封「臼杵市臼杵図書館絵図群仮目録」に同じです。)

82豊後絵図/慶長国絵図

85豊後一国之図/元禄14年

83豊後国絵図/元和元年~寛永3年

86豊後国絵図(正保)

84豊後国絵図(稲葉民部)寛永10~11年

○その他郷帳類

解説:板井清一(臼杵史談会会長)・川村博忠(東亜大)・渡部淳(土地家産研究所)の各先生

18:00~20:00 懇親会(ホテルニュー臼杵)

※ホテルニュー臼杵には、茨城大学地理学野外実習(担当:小野寺淳)の学生30名が同宿します。また、閲覧の準備もお手伝いいたします。宜しくご指導下さい。

8月21日(土)

9:00~9:45研究会 渡部淳先生「豊後国元禄国絵図の作成過程(仮題)」

10:00~12:00会員希望の絵図を閲覧(臼杵図書館3階閲覧室)

※昼食は、研究会終了後に各自おとり下さい。

■閲覧希望絵図の申し込み方法

別紙の「仮目録」を参照の上、1人1枚に限り8月5日までに氏名・住所・電話番号・FAX番号・閲覧希望絵図の仮目録番号と絵図名を記入の上、FAXにて上原までお申し込み下さい。FAXのみ受け付けます。閲覧場所が限られています。希望が多い場合は、抽選に致しますのでご容赦下さい。

熊本学園大学 社会福祉学部内 上原秀明 FAX096-372-0702

※申請をする必要がありますので、期限を厳守して下さい。

▼豊後国絵図に関する論文

川村博忠(1993):「豊後国慶長国絵図の様式と内容」山口大学教育学部研究論叢43-1

渡部 淳(1986):「元禄郷帳徴収について」海南史学24

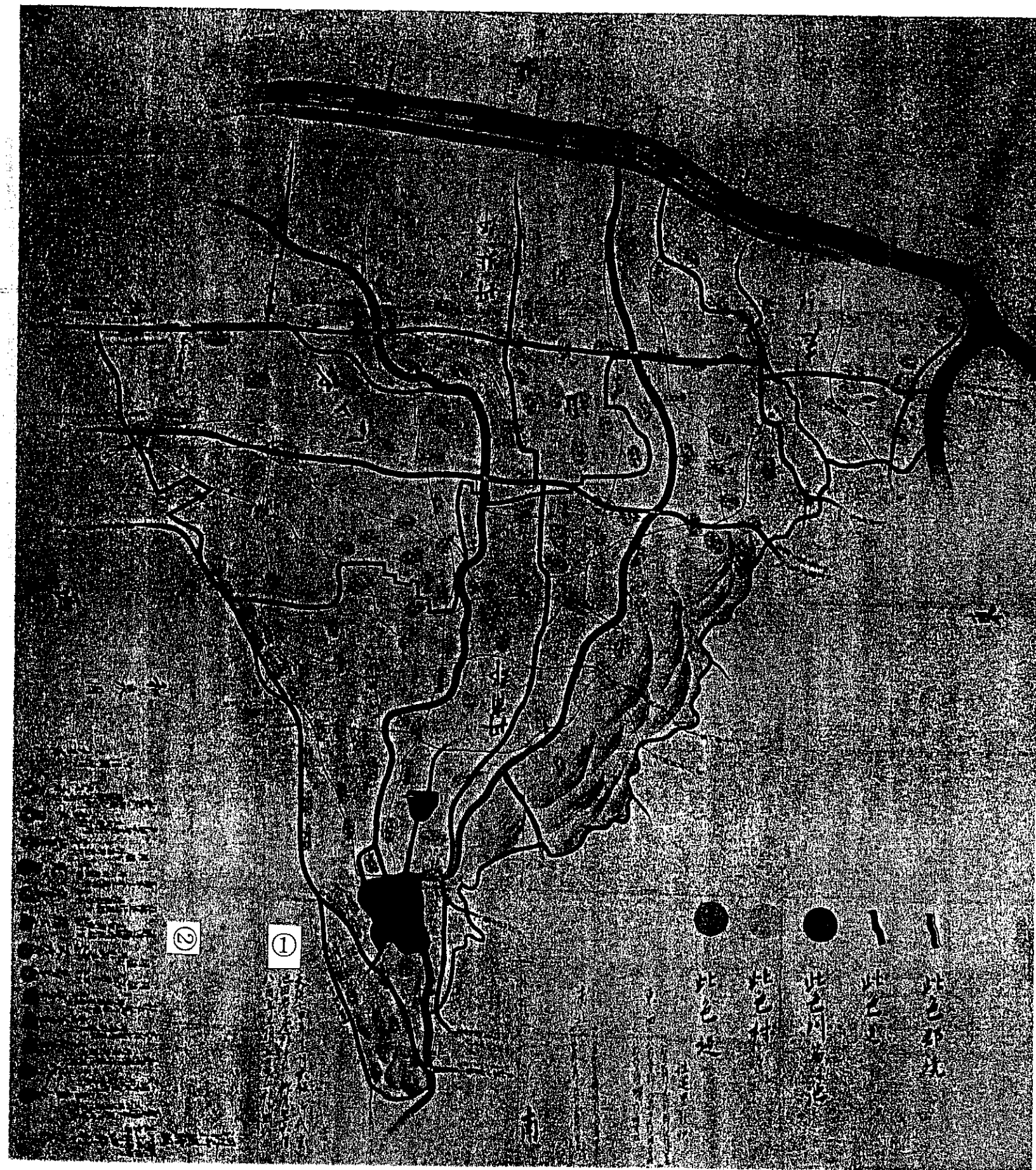
〃 (1993):「豊後国元禄国絵図の村について」日本歴史546

〃 (1993):「豊後国慶長御前帳。国絵図関連資料をめぐって」海南史学31

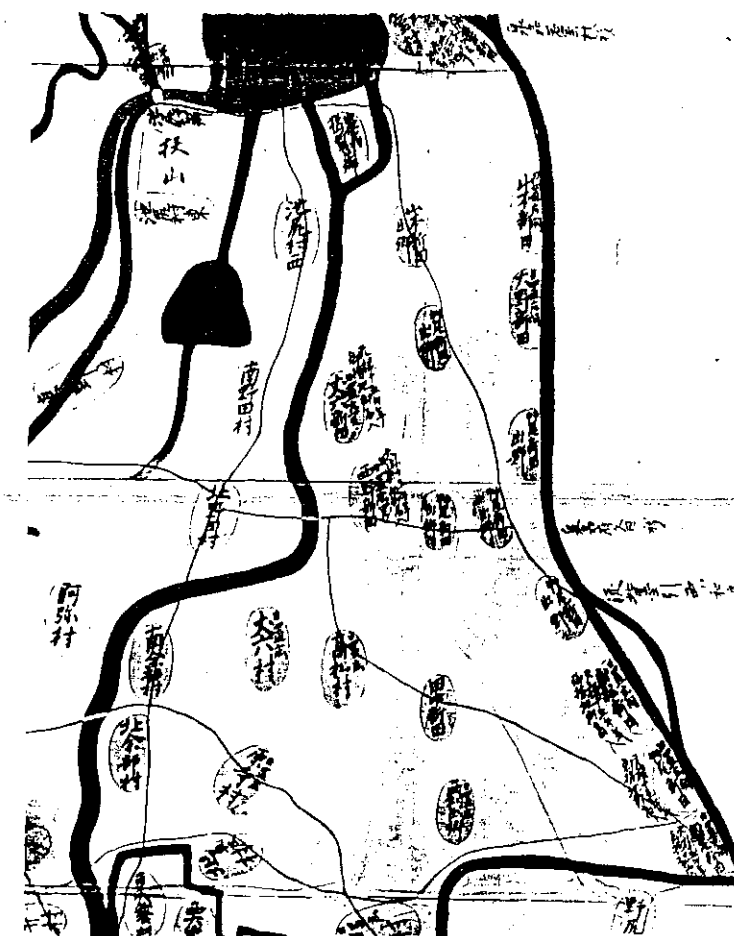
※上記論文のコピーをご入用の方は、磯永(宇治市歴史資料館TEL0774-20-1311FAX21-6800)まで7月末までにお申し込み下さい。実費でお分けします。

江戸幕府は、天保2年(1831)から天保国郷帳と国絵図の改訂に着手し、前者の方は同6年に、後者の方は同9年で、すべての事業を終了した。国絵図改訂事業は、畿内の一国である河内国では国内に城地を持つ在地大名ではなく、大坂鈴木町代官の根本善左衛門と、同谷町代官池田岩之丞の2人が総括し、新大和川筋を境に南・北に分け北部の方は根本代官、南部の方は池田代官がそれぞれ分担し事業を進めた。関東の武蔵国が4代官により郡ごとに分割したケースと同様であった。それは、天保7年11月のことで、「河内国御国絵図改被 仰出、右取調方に付申段儀有之…中略…一国内不洩様、最寄拾ヶ村式拾ヶ村得と申合相進、代表候もの其兩人者大和川を境北之方村々八大坂鈴木町 代官御役所、右川南之方村々八同谷町岩之丞御役所へ、米月十四日罷出可申候…後略…」とあるように、10から20カ村ぐらいが組合を結成し郡絵図を作成し、国絵図の調進にそなえた(神鷹補紋譜)。郡絵図作成の具体的な要項もつくられ、絵図は天保8年正月18日まで提出のことと記されている。郡絵図は単独で一郡限りで作成した場合(錦部・茨田・交野等各郡)と、数郡合同の(八上・丹北・丹南・志紀の4郡 石川・古市・安宿部3郡) の場合があった。ここで「八上・丹北・丹南・志紀四郡絵図」(A1～A3)をとりあげたい。

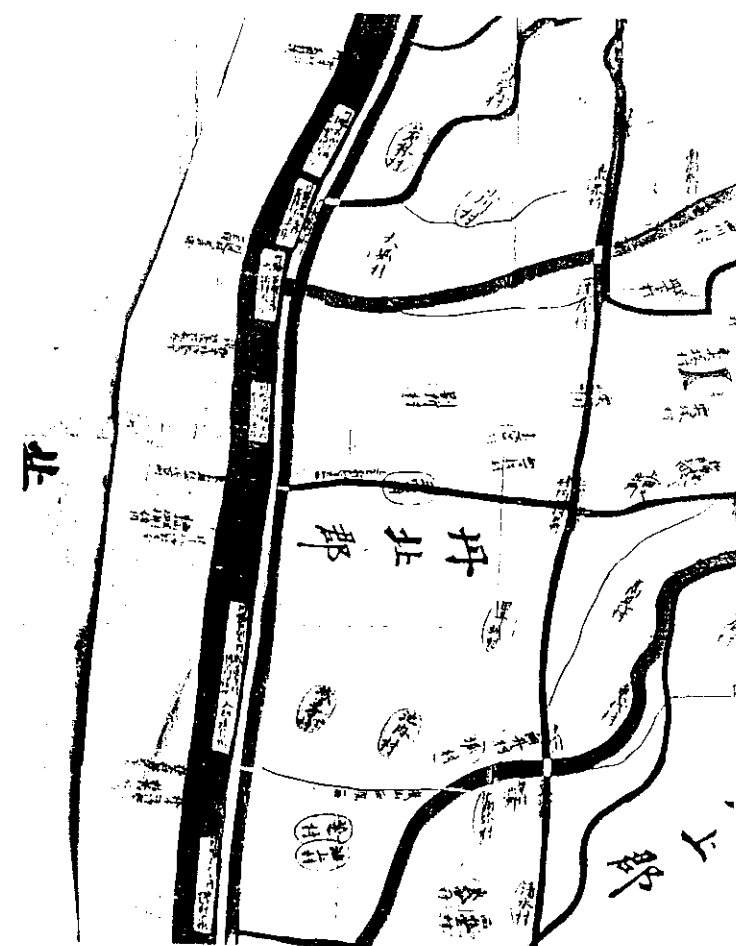
この郡絵図は128.0×113.2センチの大きさの彩色絵図である。『羽曳野市史』別巻古絵図地理図に紹介され、懇切丁寧な解説がつけられている。「狭山池掛り村々絵図」という 標題を記し紹介されているが、狭山池水利を意識したためか、狭山池を頂点とした三角形構成となっているため、名付けられたのであろう。しかし、この郡絵図にはA1①に「天保七申年十二月大坂代官池田岩之丞様より被 仰渡翌天保八年酉年三月十五日差上候御国絵図」の注記があり、池田岩之丞代官の命を受けてつくられ、8年3月15日に提出した絵図の控えである。表1のように関係4郡村々の惣代は13人で、ほかに絵図を清書した絵図師大岡藤次の名が見える(A1②)。支配領主ごとの惣代の人数に差等があるのは、その領地高の大小による。天保の国高調べで最も強く求められたのは、その国の実高であった。それは、拝領高(朱印高)・改出高・新田高などの合計であり、現実に作付等のある高外地をも対象とし、把握するを目的とした。四郡絵図の場合、新田や改高は国境線の河泉丘陵上に記されその場所が明示され村落名も記されている(A2)。高入れの年代もすべて元禄15年(1702)である。表2はに河泉丘陵新田の名称や村高を記入したが、「日置之庄開」と「日置」の名がつく新田が多い。日置庄とよぶ地は北は日置庄西村から、南は狭山池南の茱萸木まで東の西除川と西の高野街道にはさまれた、南北に細長い地域をさすといわれている(『狭山町史』第1巻)。また、流作場は新大和川筋の河原に、村落ごとに村箋を張り付け(A3)、その場所を表わしている。東のほうから「川幅百間之内船橋村流作」、「同津堂村流作」、「同若林村流作」、「同大堀村流作」、「同油上・芝村流作」と数えられる。高の判明する村落だけ表3で示した。すべて池田岩之丞代官総括下に属する。



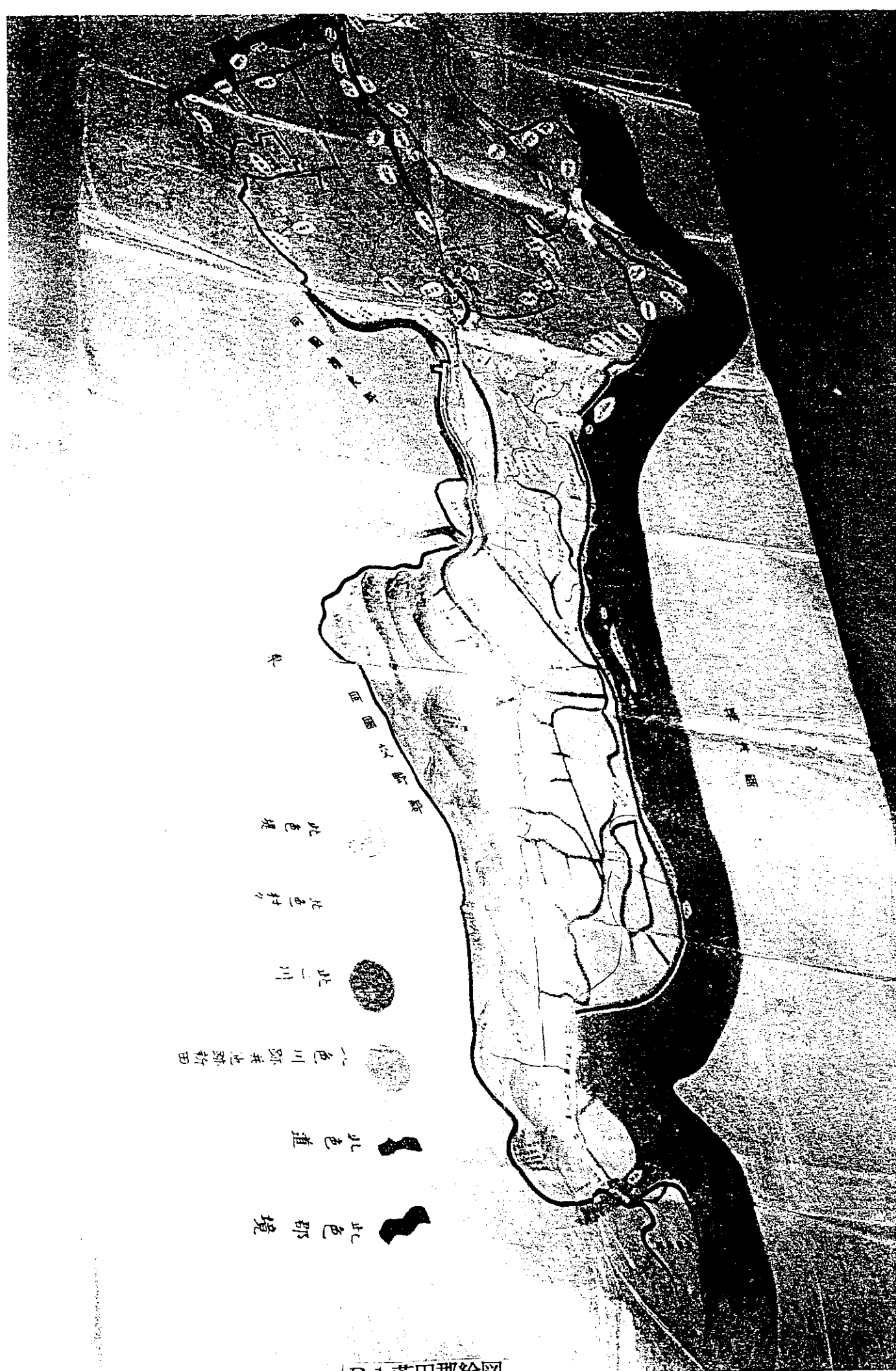
A1 八上・丹北・丹南・志紀郡絵図



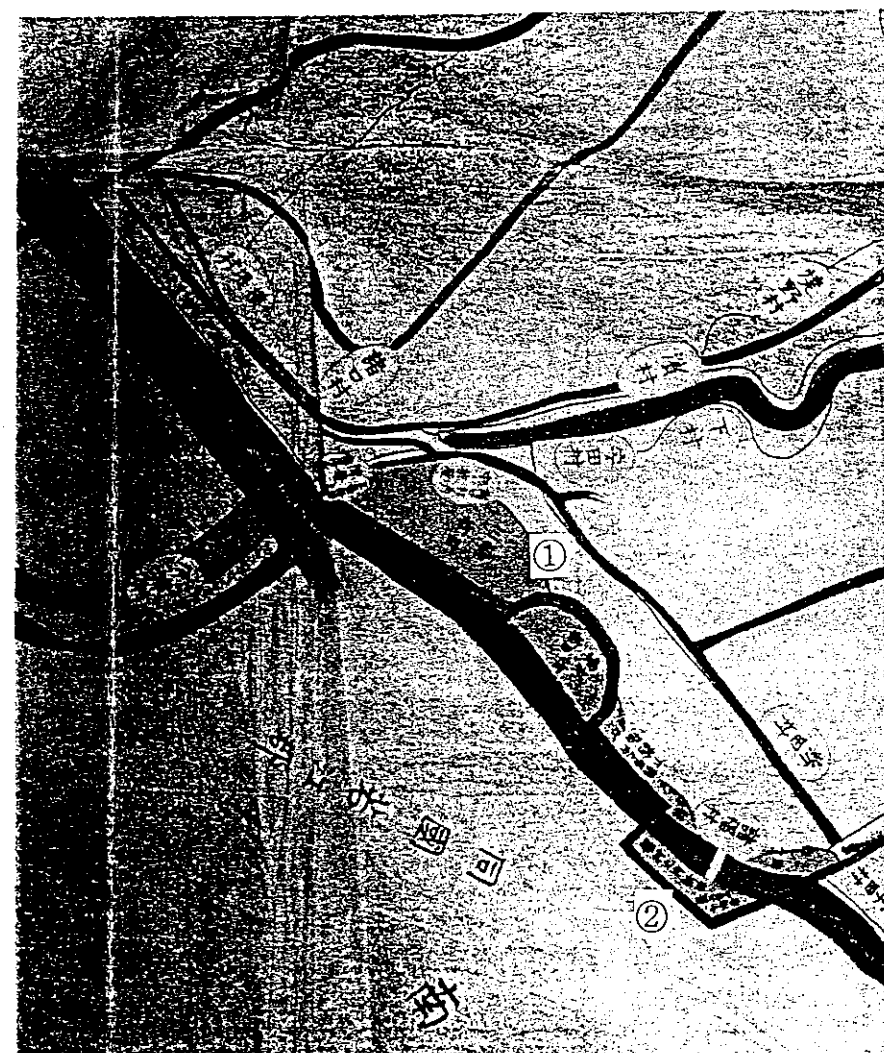
A2 狭山池周辺新田



A3 新大和川筋流作場



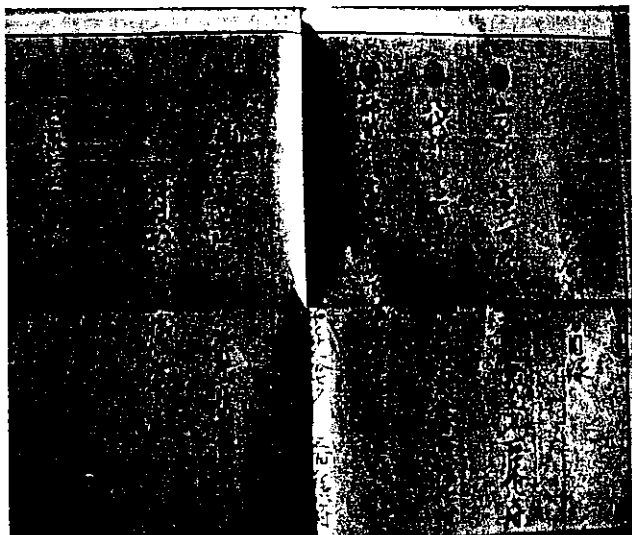
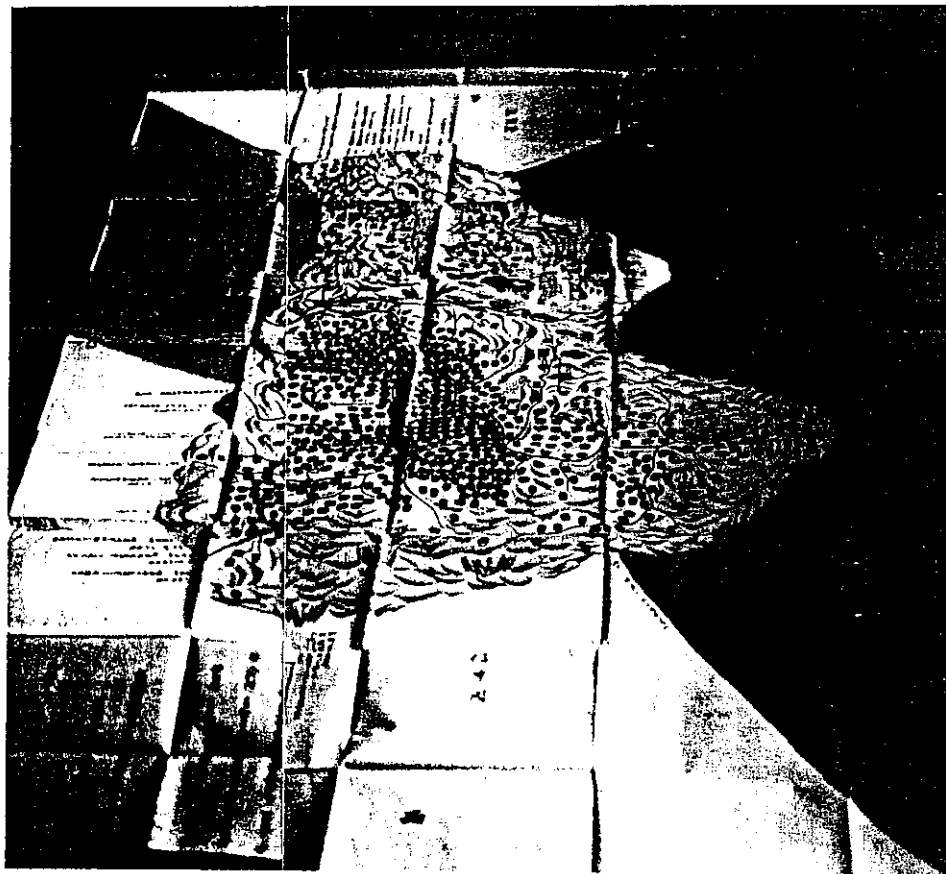
B 1 茨田郡絵図



B 2 三島新田図



B 3 淀川近辺流作場



甲斐国元禄国絵図縮図
柳沢文庫（大和郡山市）所蔵
『樂只堂年録第百六十一卷』
(179X129)

本の紹介

『姫路城絵図展図録』

♥編集・発行

姫路市立城郭研究室（刊行年1998年）

♣価格

2,000円（送料310円）

△購入方法

①代金分の郵便定額小為替と郵送料分の切手を郵送

②代金と送料を現金書留

いずれかの方法で書名を明記の上、姫路市立城郭研究室

（〒670-0012姫路市本町68-258）まで。

TEL0792-89-4877 E-mail kyo-kyokaku@city.himeji.hyogo.jp

姫路城は日本の城郭建築を代表する歴史的建造物であるが、実際のところ、近世城郭で最も重要な建築物である御殿についてはほとんど資料がなく、はっきりしたことはわかっていなかった。ところが数年前、本多中務大輔家の家老であった中根氏の子孫宅から、姫路城内を詳細に描いた絵図が発見された（「播州姫路城図」）。このことにより、18世紀初頭における姫路城の建物の様子が明確になり、とくにこれまで不明であった三の丸御殿群の平面構成がわかった意義は大きい。また、姫路城に限らず、本多家が居城とした各城下図なども所蔵されており、城下町研究においても貴重な史料が含まれている。

本図録は、姫路城の世界遺産登録5周年を記念して開催した「姫路城絵図展」に際して作成したもので、中根家所蔵城郭関係絵図の紹介と、姫路城に関する主な普請図や城下図を収録しており、姫路城研究の基礎資料となるものである。

1999年文献紹介

阿倍俊夫：元禄十三年仙台・山形藩作成の際絵図の内容とその特質（福島県歴史資料館研究紀要21）

磯永和貴：紅葉山文庫収蔵「献上国絵図」管理と利用—八代將軍邸の在職圖を中心に—（佛教大史学論集）

磯永和貴：江戸幕府撰大和国絵図の現存状況と管見した図の性格について（奈良県立民俗博物館研究紀要16）

研究代表小野寺淳：画像処理による出羽国絵図の研究（科研基盤研究C(1)研究成果報告書）

河村克典：毛利家文庫「元禄周防・長門両国国絵図」の性格（山口県地方史研究81）

河村克典：正保年間周防国「道帳」（エリア山口28）

河村克典：周防長門両国「国絵図」関係史料（山口県文書館研究紀要26）

川村博忠：元和年間作成の石見国絵図について（歴史地理学194）

藤田裕嗣：近世絵図類に描かれた土地条件と阪神大震災における被災状況との関連性—溜

池に注目して—（『都市形成と自然基盤からみた阪神大震災における被災・復興に関する研究』科研基盤研究B(2)研究成果報告書 所収）

◎新入会員の紹介 下記の3名の皆さんが入会されました。

小泉 誠（佛教大学・院）〒603-8479京都市北区大宮薬師山西町2-19八木方

TEL090-8530-5698

白井哲哉（埼玉県立文書館）〒335-0002埼玉県蕨市塚越5-5-13-502

TEL・FAX048-433-0994

鳴海邦匡（九州大学・院）〒814-0153福岡市城南区樋井口2-12-6ヒルトップ城南104

TEL・FAX092-866-1538

会告

本年の会費を徴収します。同封の郵便振込で2,000円をお納め下さい。※

編集後記

※今回の研究余滴は、福島先生に蘊蓄ある研究成果をご披露頂きました。また、工藤先生（城郭研究室）からは本の紹介を賜りました。ありがとうございます。編集子の原稿は穴埋めです。会員みなさん、どうぞ原稿を賜りますよう。

※歴史地理学会では、4つの絵図に関する発表がありました。たのもしの限りです。新入会員の鳴海さんはその一人です。また、小泉さんは大阪城下町を、白井さんは前号のニュースの文献の通り寛永国絵図などを研究されています。《ニュース編集担当：磯永和貴》
〒611-0023京都府宇治市折居台1-14宇治市歴史資料館TEL0774-20-1311FAX21-6800